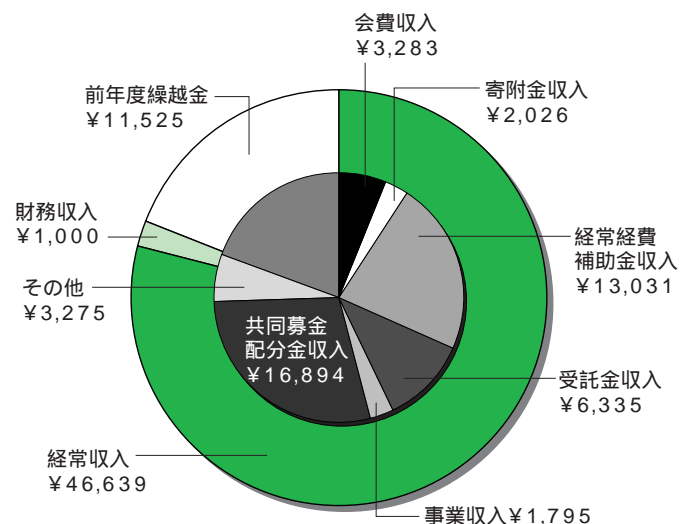


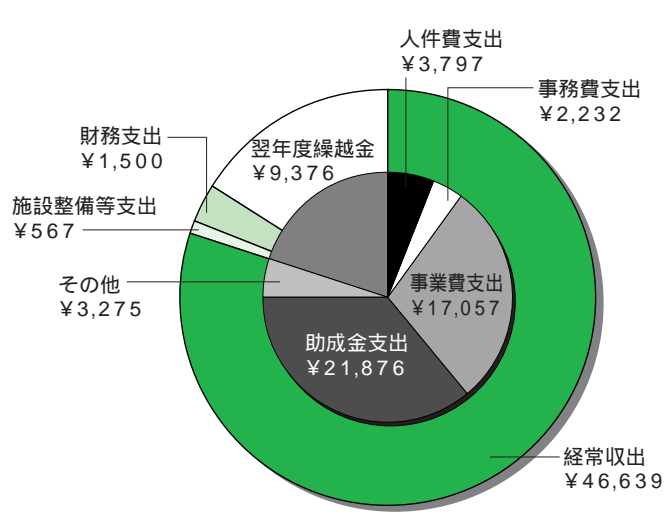
# 平成15年度決算

(単位:千円)

## 資金収支 収入



## 資金収支 支出



## 平成16年度 重点事業

地区社会福祉協議会との連携・支援の充実 障害者の社会参加の促進  
地域福祉計画と地域福祉活動計画への取り組み

## 平成16年度 共同募金配分団体

各団体の配分額

- 配分額400,000円▶ 緑区民生委員児童委員協議会
  - 配分額250,000円▶ 緑区老人クラブ連合会
  - 配分額 90,000円▶ 東本郷・鴨居・竹山・白山・新治中部・山下・三保・新治西部・十日市場団地・霧が丘・長津田各地区社会福祉協議会
  - 配分額 50,000円▶ 緑区子ども会連絡協議会 / みどり手話の会 / ボランティアばら / 中山食事会 / 長津田地区 老人給食会 / 竹山寿会 / 日鋼御食事会 / 霧が丘会食会 / 鴨居ボランティア / いぶきの会 / れんげの会 / 霧が丘ひまわり教室 / 東本郷地区リハビリ教室なすびの花の会 / 矢車草の会 / ヒルタウン昼食会
  - 配分額 49,000円▶ 手話サークルやよい
  - 配分額 48,000円▶ 喜隣会
  - 配分額 45,000円▶ 杉山原昼食会
  - 配分額 40,000円▶ 東本郷ボランティア
  - 配分額 39,000円▶ ボランティアグループ "だいこんの花"
  - 配分額 32,000円▶ 隣友会 / 緑区友愛活動推進員連絡協議会
  - 配分額 30,000円▶ 三菱さくら食事会 / 新治中部地区リハビリ教室ぬくもり
  - 配分額 28,000円▶ 朗読・録音グループみどり
  - 配分額 20,000円▶ ボランティアみほ / 白山かえで会 / 手話サークル「昴」
  - 1,725,579円▶ 緑区社会福祉協議会事業費
- 共同募金配分金総額 4,548,579円

## 緑区地域福祉保健計画及び緑区地域福祉活動計画を策定します。

誰もが安心して自分らしく暮らし続けられる緑区を目指して、身近な地域の生活課題やアイデアをみんなで話し合い、共に支えあう仕組みづくりを進めます。平成16年度～17年度の2ヶ年で、18年度からの5ヶ年計画を緑区役所と合同で策定します。

## 編集後記

今回は、学校・地域での福祉教育と、知的障害児を支える取り組みについて特集しました。どちらも準備や当日の運営などとても大変ですが、子どもたちの真剣な姿や楽しんでいる姿をみることが活動を続けていく原動力になっているのではないのでしょうか。今後もこのような活動が長く、多くのところで続けると良いですね。

広報研修委員会 / 山口陽子・浅利茂・小田法子・大槻佑子・原田成高 事務局 / 石井春樹・鍋木克芳・浅野和子

# 社協だより みどり 第8号

発行 社会福祉法人 横浜市緑区社会福祉協議会 緑区中山町413-4(ハーモニーみどり内) TEL 931-2478 FAX 934-4355  
ホームページ: <http://www.midori-shakyo.jp/index.html>

平成16年10月発行

## 学校・地域での福祉教育の取り組み

近年、児童が身近な生活の場で福祉を学ぼうという福祉教育が学校でも地域でも積極的に行われています。緑区社協へも学校から多く相談が寄せられ講師紹介、機材貸出、体験学習の場の提供等を行っています。今回はその中から取材に行った2件を紹介します。

### 学校では

### 霧が丘中学校福祉体験

高齢者疑似体験、車椅子体験、アイマスク体験、手話体験を授業の中で、障害についての理解を深め、福祉に対する意識を高めることを目的として、1年生全員を対象に行われました。

当日は非常に天気の良い暑い中でしたが、自ら障害者でもあり講師を勤めた方や地元のボランティアの方々は熱心に指導されていました。



講師(左)に指導を受けながら、車椅子で段差を乗り越える練習をしています。

車椅子を動かす時は声かけをする、乗っている人を怖がらせると重くなってしまうなど、車椅子の方とボランティアのコミュニケーションの大切さを講師の方は話されていました。



視覚障害者の生活を実感するためにアイマスクをして折り紙を折っています。

単純に三角に折るだけでもとても難しい様子でした。

### 地域では

### 鴨居地区社協配食サービス

週1回年間を通して、高齢者の見守りを兼ねて地域のボランティアが高齢者宅に昼食を配っています。夏休みは、鴨居中学の福祉委員4名がチームを組んで手伝いに来ています。



みどりちゃん

自分の住んでいる地域でボランティア体験できる活動が、将来の地域福祉の担い手を育てていくのではないのでしょうか。



孫のような年齢の生徒に「はい、お弁当です」と渡される方はとてもうれしそうなお顔です。

灼熱の太陽の下、汗びっしょりで活動に参加する生徒は「地域のために役に立っているという気持ちで持ててうれしい」という感想でした。